

# 市議会 役割発揮

## 税金のムダ使い正す 1297万円削減

## 公金横領 再発防止へ処分強化

議案否決↓臨時議会に議案再提出

### 「議決を重く受け止め、全額削除」市長

6月25日閉会し

た6月議会。おおよその森地区に建設中の小中学校併設校（来年4月開校）に関する『財産取得』議案が反対多数（賛成4、反対21、棄権1）で否決されました。おおよその森地区では、子どもが増加し、小中学校の建設は必要不可欠。それでも「A」の審判をなぜ議会が下したのでしようか。



7月3日

開催された市議会全員協議会では、市長は「議決を重く受け止め、全額UR都市機構の負担とし、7月14日の臨時議会で議案を再提出する」と報告。ムダ使いに機敏に対応した議会の正しさを証明しました。



建設が進む小中学校併設校

議論の焦点は、併設校建設現場で働く労働者用トイレに付随した『仮設浄化槽1297万円』を流山市が全額負担する理由でした。

学校建設を取り仕切る独立行政法人UR都市機構は、浄化槽の必要性を認識しつつも、事業費の見積りに入れず、市へも未報告。さらに、仮設浄化槽以外の調査・比較検討もしていません。

浄化槽は、建設を受注したゼネコンにより半年前に設置されており、議案否決でも影響しないことから、浄化槽の費用負担について再協議を求めため議会が重い処分を下したのです。

### 「黙って賛成、それでも議員？」

そんな中で、理由を述べず議案に賛成した『市民クラブ』（酒井睦夫代表、藤井俊之幹事長、楠山栄子議員、西川誠之議員、委員会では反対した菅野議員は棄権）に批判が高まっています。「立場が違っても、委員会と本会議で態度を変えるなら、理由を述べてほしい」「議案を審査した委員会では反対した」菅野議員は自分の心に嘘がつけなかったのでは。会派の同僚を退席させ、討論もせず賛成。それでも議員？との声も聞かれています。

### 市長・副市長への処分『3ヶ月間』↓『6ヶ月間』へ 議会が議案を修正 （※議会質疑の様子は市議会HPで見ることができます）

今年5月、公金横領が発覚しました。6月議会では、任命責任等から市長・副市長の報酬を『10%削減・3ヶ月間』とする議案が審査され、質疑の結果、市職員の減額処分条例の最長期間である『6ヶ月間』へ延長する修正案が可決・成立しました。

### 「処分必要なし」って？

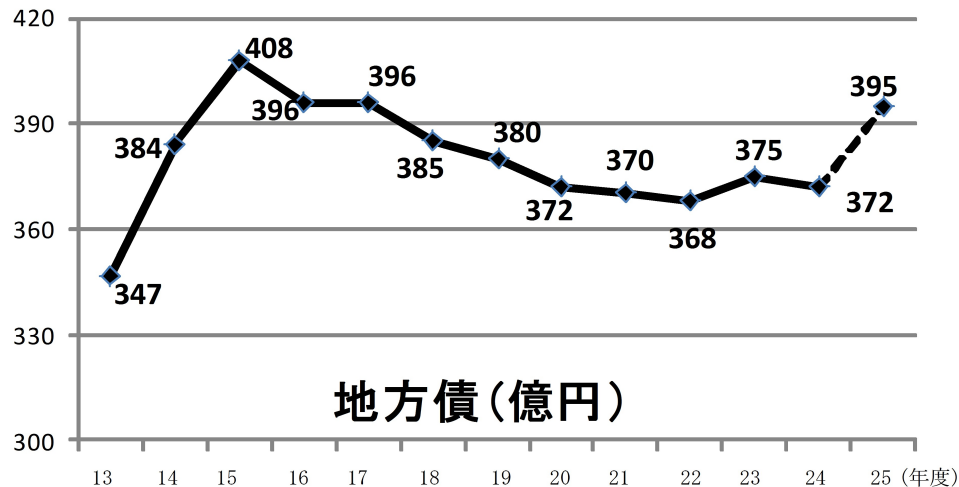
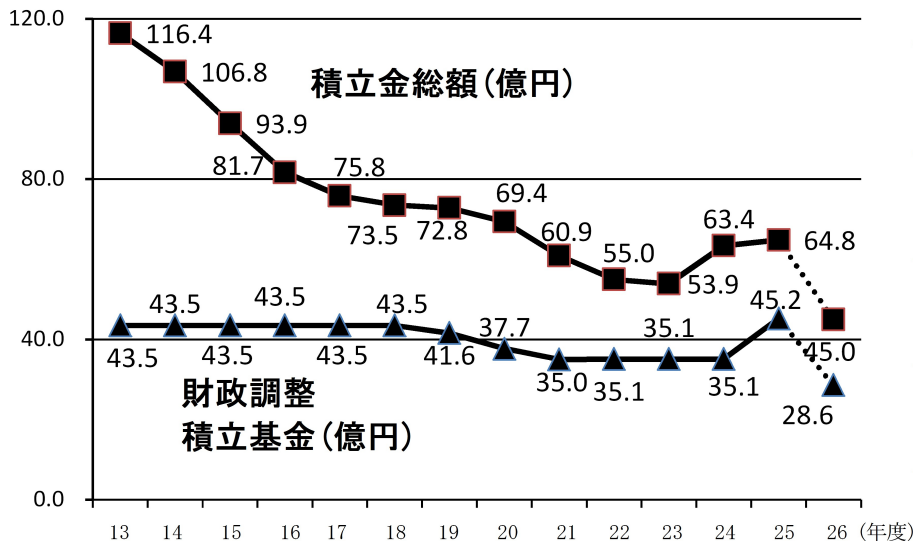
「もっと重く」との市民の批判が

聞かれる一方、「適正」と修正案に反対討論した会派も。それどころか、議案全部に黙って反対した議員（酒井睦夫議員）もいました。「訂正時間もあつたのにしなかった。同じ会派が討論して修正部分だけに反対した姿と比較して、議案そのものに黙って反対。市長の処分は必要ないってこと？」…市職員も首をかしげています。

# ご存知でしたか？市財政の実態

みなさんのご意見をお聞かせください

takashi70612@yahoo.co.jpまで



借金はずいぶん増、積立金は70億円減

市議会では、『公債費負担比率』『財政力指数』など行政的指標を使い、「市財政は大丈夫？」と質問をされる議員もいますが、借金（地方債）がどれだけ減り、積立金がいくら増えたのでしょうか。

6月議会総務委員会での市当局の答弁を表にまとめると上の2表になります。「財政危機」と井崎市長が初当選したのがH15年度。H13年度以降の推移は、借金が50億円増え、積立金は70億円減りました。

TX開通後、若い世代の人口が増え、税収も増加していますが、TX周辺のまちづくりや公共施設の老朽化を見れば、財政の余裕はありません。

また、おたかの森地区の小中学校新設も市民総合体育館建替えも必要ですが、『必要』というだけで、2事業だけに190億円もかけ、その借金返済がH52年まで続く…これが最後まで責任を持った行財政運営なのでしょうか。

井崎市長は、1期目最後に財政の『危機突破』を理由に、2割の報酬削減を自らやめました。いまや「金額に見合う改革はしている」と1556万円の市長退職金（任期毎に支給を受け取る算段です。本当にこれでもいいのでしょうか。

いま議会の役割の大きさを改めて実感します。市議会では、集団的自衛権行使容認の閣議決定をめぐって、国民に開かれた場での『慎重審議を求める意見書』を全会一致で議決しました。県内では唯一です。

各議員の思想や立場、理念は様々ですが、「地域住民にとって良いものは良い」と一致点での共同が広がっています。住みやすい流山市へ、引き続き頑張ります。

日本共産党  
市議会議員

**小田桐たかし**



流山民報（号外）発行：日本共産党流山市議団  
小田桐事務所連絡先：7154-8253  
携帯090-8567-8858